

豚



豚

登場人物

三上

田原

作・中野 守（中野劇団）

喫茶店。売り手の三上と買い手の田原が向き合って座っている。

田原

三上

それって、三上さんの所の豚を今後うちに卸せないってことですか？

卸せない……。まあそちらの言い方だとそうなりますね。

田原 それって理由があるからですよね。金額的な部分ですか？ 確かに値段を下げるようにお願いしましたけど、それでもこのご時世から考えると、そこまで買い叩いているわけでもないと思うんです。

三上

田原

……そうかも知れません。……いやそうじゃないんです。

そうじゃない……。三上さんのところの豚はお客様にも漸く好評なんです。勿論それだけ手間がかかるつていることも重々承知しています。

三上

うちがね、おたくと、……田原さんの所とお仕事させてもらつようになつたのは、あなたのお父様、先代の社長さんの頃からです。

田原

ええ。四十年以上のお付き合いだと聞いています。

田原 サーカス団と言えば、当時は日本でも指折りの人気サーカス団でした。田原さんみたいな人気のサーカス団が、うちで芸を仕込んだ豚を使って下さつていて。父はそのことを長年誇りにしてきました。

田原

……うちがサーカスでやっていけなくなつて、料理屋に仕事を変えたのは父の時代です。三上さんの豚はとても評判で、うちが料理屋として成功できたのに三上さんの豚のお蔭と言つても過言ではありません。

何でうちの豚を料理に使うんですか。

え？

三上

田原 料理に使うんだつたら、最初から精肉用の豚として飼育すればいいわけですよ。

田原

ところが三上さんがしつかり芸を仕込んだ豚はどういうわけか格別に味がいいんです。

三上

田原

三上

知りませんよ。美味しく育ててたわけじゃないんで。
勿論わかつていますよ。三上さんの所が「げい」の豚を育てていることは。
ゲイの豚って何ですか。

田原

三上

……うちは動物が売りのサークัส団でした。子供たちにも人気で。ライオンの火の輪くぐり、ゾウの輪投げ、そして三上さんの豚のショーはウチの自慢の出し物でした。……いつの頃からか、動物愛護団体なんかがいろいろ言つようになって、毎日のように嫌がらせがあつて、世間もそれに同調して、動物は使いにくくなつたんですよ。おかしな話ですけどね、生かして使うより殺して使う方が世間体はいいんですよ。動物にすりや生きられた方が幸せなんじやないのかつて私個人は思いますけどね。勿論キリンやゾウを食べるわけにはいきませんけど。

三上

いや、そちらの事情がどうか知りませんけども、少なくともうちはサークัสで芸ができる豚として売っていたわけです。それも毎回同じ芸では芸がない。常に新しい芸を日夜考えて考えて。……勿論動物愛護団体のそういう意見があるつてい

うのもわかつていましたから、鞭を使わずに、できるだけ虐待だつて言われにく
い芸にしようつて。まあ、芸を仕込んでいる時点で虐待だつて言われれば返す言
葉もないんですけど、それはそれは、気も遣つてましたし。……それなのに、すぐ
にお肉にしてたなんて。

田原

知らなかつたのですか？ サーカスから料理屋に商売を変えたのは父の代からで
すよ。

三上

田原

本当に知らなかつたのですか？ うちの店はホームページも開設してゐるし、グル
メ記事にも度々載せてもらつていました。

三上

知らないです。父は売つた先で豚がどんな風に扱われてゐるのか知ろうとしなかつ
たんで。知つたら、辛くなることもありますから。私も同じ意見です。売つたわ
けですから。自分達の手を離れるわけですから。その先でどんな調教のされ方を
していても、どういう扱いを受けていても意見を言うべきではない。だつたら
何も知らない方がいい、そう思つていました。けど、食用にするんだつたら。
……。

田原

三上

田原

三上

田原

先代の社長さんはうちの豚は人気だとずっと手紙をくれていました。全部取つてありますよ。「ユメコ」は神経質だとか、「マルオ」は悪戯好きだとか。みんなお客さんに大人気だつて。うちの親父は、その社長さんの手紙を生き甲斐にして、より喜んでもらえる芸を豚に仕込み続けたんです。そりや父だつて薄々気づいていたと思いますよ。サークัสの豚にしてはやたら頻繁に買われてたし。だけど、敢えて真実を知る必要はない。ところがあなたが社長になつて、料理に使つてることを隠さなくなつた。伝票に「どんかつ用の豚」つて。それを見た時の父のやるせない顔つたらありませんでした。「何だよどんかつ用つて」つて。
……手紙のことは、知りませんでした。

「ほかのブランド豚にもつと安くて美味しい豚がいるから、もう少し安くしてほしい」って? だつたらその安くて美味しい豚を使えばいいじゃないですか! うちは芸の出来る豚を育ててたんです。

私も父も、三上さんの所の豚が好きなんです。

味がでしょ!
味がでしょ。

三上

田原

三上

田原

三上

田原

だったら最初から食用として飼育します。それでいいじゃないですか。

芸を仕込んだ豚じゃないとダメなんです。

その芸を見ることもなくとんかつにしてるわけでしょ？

だったら、次から私が芸を見ます。

何なんですかそれ。それはあなたが芸を見てからとんかつにするつてことです

か？

いやあだって、お客様に芸を見せてから捌くわけには。

そりやそうでしょ！だから、芸、要らないでしょ？

要らなくないんです。決して無駄ではないんです。「芸は身を助く」とは良く言つ

たもんです。三上さんが芸を仕込んだ豚は、本当に評判がいいんです。

味がでしょ！

味がでしょ。

三上

……じゃあ例えればあなたのお店で作られた最高のとんかつを、毎日出前で買って
くれるお客様がいたとします。そのとんかつを毎日犬のエサにしていたとした

ら、どうです？

田原

三上

田原

三上

田原

三上さんの所の豚を使ったとんかつをですか？

何かブーメランみたいになってしまいますけど。

犬ってとんかつ食べるんですか。

食べるでしょ。喻え話なんでその辺はいいじゃないですか。

何で犬のエサに？

犬が喜ぶからです。そこのご主人は一度もおたくのとんかつを食べたことがなくて、毎日犬が食べていたんです。そのお客様、流石に田原さんの所のとんかつを犬にあげていることは黙っていたのに、そこの家族がにあなたに言つんです。「うちのわんちゃんが毎日美味しく食べてます」って。

……サークス用の豚が犬に食べられて、三上さんは納得できるんで――

あなたに聞いてるんです！ 納得できますか？

……いやでも、うちは人にね、食べてもらうために料理を作ってるわけですから。

こっちはサークス用の豚として育てていたわけです。

でもサークスの豚なんて、今の時代売れないとやないですか。

それをおたくが言つるのはおかしいでしょ！

三上

田原

三上

田原

三上

田原

三上

田原

三上

田原

三上

……こんなこと言つのはあれですが、うちが買わなければ三上さんはどうやって収入を得るんですか。どうやってやつていくんですか。

三上

普通に食用として豚を卸しますよ。

田原

芸を仕込んだお肉じゃないと、買い手なんてつきませんよ。

三上

芸を仕込んだお肉って何ですか！

田原

……ちょっとこの後予定があるので、今日のところは失礼させていただきます。お

時間すいませんでした。……今度一度是非うちに食べに来てくれませんか？

そ

した、うきつと納得していただけたと思うんです。

その前に、一度芸を見てもらえませんか？

田原

……。

終わり。

